



## シラバス

シラバス 2010 年度の講義概要のデータベースを検索します。

■学部・研究科	環	■時間割コード	64350
■科目名 サブテーマ	建設構造材料学演習	■授業形態/単位	秋/2
■担任者名	<u>鶴田 浩章</u>	■クラス	
■講義概要	<p>コンクリートは、建設構造材料として極めて重要なものである。さらに、社会基盤施設の要求性能、設計・施工条件および環境条件、景観などに応じて最適なコンクリートが多種多様に存在する。このような条件を満たす良いコンクリートを作るために、材料の選定、配合設計、施工・養生などがそれぞれの要求される条件を十分満足しなければならない。</p> <p>本講義では、コンクリート構造用の材料に関して、構造物の施工、供用、補修補強、解体リサイクル等について考慮する際に理解すべき事項についての知識を習得し、演習問題を通して建設構造材料に関する総合的理解を深める。さらに、演習を通してそれらの知識を活用できる能力を修得する。</p>		
■講義計画	<p>第1回 ガイダンス、建設構造材料学の復習          第2回 高分子材料(7章):役割と特徴、種類、補修・補強分野の用途          第3回 アスファルト(8章):役割と種類、舗装への利用          第4回 建設材料の基本的性質およびセメントに関する演習          第5回 骨材に関する演習          第6回 混和材料に関する演習          第7回 フレッシュコンクリートに関する演習          第8回 硬化コンクリートに関する演習          第9回 配合設計に関する演習1          第10回 配合設計に関する演習2          第11回 各種コンクリートに関する演習          第12回 鋼・高分子材料に関する演習          第13回 アスファルトに関する演習          第14回 総合演習          第15回 定期試験</p>		
■成績評価の方法	<p>定期試験(筆記試験)の成績と平常成績で総合評価する。          定期試験(60%)、出席状況及び小テスト(10%)、演習課題(30%)で評価して、合計60点以上を合格とする。小テストはCEASを利用して行う。</p>		
■教科書	<p>宮川豊章:監修、岡本享久:編 『図説 わかる材料』土木・環境・社会基盤施設をつくる(学芸出版社)</p> <p>演習問題については、プリントを配布する。</p>		
■参考書	<p>小林一輔 著 『最新 コンクリート工学』 (森北出版株式会社)          村田二郎・長瀧重義・菊川浩治 著 『建設材料 コンクリート』 (共立出版株式会社)          竹村和夫・戸川一夫・笹原 篤・庄谷征美 共著 『建設材料』 (森北出版株式会社)</p>		
■備考	<p>関与する学習・教育目標:◎(B) ○(A)          オフィスアワー:学生の申し出により随時行う。e-mailでの予約が望ましい。          tsurutah@kansai-u.ac.jp</p>		

Copyright (C) 2004-2010 関西大学および情報提供者 All rights reserved. 無断転載を禁じます